

磐城時報

福島縣石城郡平町掛屋町十四
印刷 磐城時報社
電話 二二二
代金 一月三圓 三月九圓 半年一七圓 一年三三圓
廣告料 一行十四字 一月五圓 一月十圓 一月十五圓 一月二十圓 一月二十五圓 一月三十圓 一月三十五圓 一月四十圓 一月四十五圓 一月五十圓 一月五十五圓 一月六十圓 一月六十五圓 一月七十圓 一月七十五圓 一月八十圓 一月八十五圓 一月九十圓 一月九十五圓 一月一百圓

平商業卒業生

大部分は實業に就く

就職方面は不成績

十二日卒業式舉行

平商業學校卒業證書授與式は、十二日午前九時から舉行するが、本年度卒業生は五年四十名、三年百六名で五年卒業生のうち上級學校に入學する者五名、直ちに實業に就く者二十名、會社の他に就職志望の者二十名内外であるが、就職口は今の處殆んど決定してゐない。卒業生並に優等生氏名左の如し

- ▲優等生五年
 - 根内武久(平) 會田邦男(平)
 - 高野巖(相馬)
- ▲三年
 - 富田二郎、小原修一、四家繁
 - 山田正直、榎石勇助
- ▲五年
 - 新妻清、新妻宮治、大越三郎
 - 押田正光、岡田浦次、河原正平、高野巖、高田功、高橋辰雄、高橋重、根内武久、中島清、内藤八十八、牛久繁、草野喜一、黒崎正夫、屋島治三郎、山野邊善文、山野邊正久、谷口秀雄、安逸郎、松下弘、松崎信、酒田宗男、會田邦男、新井彦一郎、阿部克英、齋藤勇、齋藤長治、齋藤橋本、坂本博太郎、佐藤信義、佐藤武雄、酒井實、藤原善治、柴田弘一、比佐正雄、百澤易正、清野正術、須釜武志
- ▲三年
 - 岩崎庄三、石山正夫、池田錦

平町の豫算確定

特別税戸數割を低下

學級増加は認められ

公園陸橋案は削除

公園陸橋案は削除

平町昭和七年度豫算決算の町會平均負擔額十七圓五十錢を十は九日後一時から開會、委員六圓六十錢と修正した、即ち會の修正案内容について委員長特別税戸數割は提案より四千三百の説明があり修正案通り可決確百二十圓を減額したわけで、歳定された。修正した大要を示せば、歳入に於て増額を計つたものは、歳入に於て三十一萬七千二百圓を減額した。歳入に於て二百圓である。十九圓を三十一萬六千二百一圓と細目について見れば第二小學校の備品費百三十一圓、消耗品費八圓、第三小學校需要費百五十者に督促差押の強硬手段に出るものに至つて少く二月末期日切迫に際し全國各方面よりある。

木炭組合で

表彰委員會

八圓、傳染病院費百三十五圓、水道事業費に於ては千二百九十圓、警備費三百三十六圓、豫備費五百八十九圓を何れも減額し、臨時部に於ては二町目裏排水中工事費四千五百圓を五千五百圓とし、千圓を増したのみで、園陸橋架設費五百五十圓を削減し、外警備費に於て百圓を減じた。

内郷村で

大越中佐の會

石城郡内郷村では例年の如く七日軍神大越中佐の會を催し、小學校、軍人分會、青年團の墓前參拜並に白石玄海氏の講演があつた。

殺人事事件の公判

懲役四年と二年を求刑

警女生百余名が傍聽

昨年九月九日夜石城郡渡邊村不動尊境内で泉村鈴木平治(二四)外一名と喧嘩をし殺害した植田町江幡松田松治(二二)高木正明(二〇)に係る傷害致死事件第二回公判は九日午前十時から平支部で開廷、市川檢察事は正當防衛町農會では十一日から四日間と認めない論告し松治に懲役四年、正明に同三年を求刑し、田辯護士、山野邊辯護士何れも無罪を主張して閉廷したが、警城高等女學校生徒百余名が傍聽博の婦人看守人採用試験を行ふ混雑を極めた。

醬油醸造講習

湯本家用醬油製造講習會を開講する

婦人看守人採用試験

博の婦人看守人採用試験を行ふ

四倉港の國庫補助

繰上げの運動

臨時議會召集前に

新妻四倉町長等上京

本年度から着手する四ツ倉港漁補助交付繰上げの運動を起す事、改修工事に對する國庫補助は現に決定臨時議會召集前に新妻町内閣出現により半額交付と決定長外町議、漁港委員が上京關係した處議會解散の爲め前年度踏各各方面に陳情する事となつた。裏の施行豫算の下に交付絶望と尙同補助が實現すれば現在町民なり全町失望してゐたが、同一負擔と決定してゐる總豫算三十萬圓の下に豫算繰上げに傾斜し六萬六千圓の半額十八萬三千圓た小名濱商港本年度改修豫算が浮び上り一戸當り百八十餘圓過般の内務省議で再び粗上登りの支出が助かる譯で町民は血眼十五萬圓増額決定を見たのに、なつて運動の達成を祈つてゐる。

地元縣議に依頼し

植田署改築陳情

隣縣茨城縣と密接なる關係を有する石城郡植田警察署は既報の如く、陳情が狹隘を告げ且つ不朽軍省に對し新兵器並に軍事思想甚だしく改築の必要が一般から普及の諸機械を陳列せらる、様叫ばれてゐたが、最近愈々緊急交渉中であつたが、陸軍省では要する事となつたので地方民は地元選出縣會議員に依頼し近頃縣當局に對し改築促進の陳情をなすこととなつた。

平商業校の授業料

滞納二千七百圓

督促差押の強硬手段

平町では平商業學校生徒の月謝ることになつた、三百七十五名平町に於て來る四月一日より開催する昭和産業博覽會では目下之等はいづれも地方では初め

産業博覽會に

兵器も陳列

等、その他十數種でこの外今回の滿洲事變の押収兵器等であつ

益踊りの宵の

この延人員千余人に達し中にトもてあまほし保護人にこれが納は半ヶ年も續けて滞納してゐる入を迫ることになつた。

泥酔しての歸途

斷崖から墜落

石城郡内郷村大字高坂字館野九十五番地警城炭礦坑夫三船惣太郎(四〇)は六日午後八時半頃知人の處で泥酔し歸宅の途中同村大字白水字廣畑地内で二十尺の斷崖から墜落惨死してゐたのを八日朝通行人が発見し平署から係官出張検視した。

馬匹去日割

石城産馬組合では左の日割で警中グラウンドで本年馬匹去勢を行ふ。

▲十二日 赤井、大浦、川前、大野、内郷、飯野、草野
▲十三日 玉川、好間、高久、箕輪、上下小川

強盜殺人

公判 開廷

平町銀治町高野四郎(二七)が去る一月平町南町飲食店佐藤屋事佐藤ツメ方に登樓し歸りがけに女將ウメ(五七)の首を手拭で絞殺せんとして果さなかつた強盜殺人未遂の公判は九日午後三時から平支部で開かれたが傍聴多数であつたため混雑を極めた。

東京に憧れ

家出した娘

平露橋内を七日深更に迂路ついである舉動不審の二十歳の美人を平署員が進行取調ると、右は安達郡新殿村大字杉澤醫者勇長女柳井ユウ子(二三)と稱し東京に憧れ七日家出して平露に下車したもので精神に異常を呈してをり同署で保護を加へ親元へ引取らした。

レコード破りの石炭大特賣

警城炭礦一二等炭

正味十貫匁一俵金卅錢也

「品が良く」「値は安く」をモットーとする當店は此度超破格の格安石炭を販賣開始致します。値が安くとも品は悪くはありません。警城炭礦の處分的大堀出物です。品物の無くならない中に御注文下さい。配達は一俵より致します。

御注文は

電話二三七番へ

阿部石炭商店

家庭の防火設備

猛火でも
忽ち消ゆる
粉末消火器

使用輕便、價格低廉、効力偉大

平町四丁目

小野屋藥局

債券、公債、兩替金融

多田井質店

平町大工町 (電話五九一番)

病室完備

X光線科

科外専門

入院 院應需

上田外科醫院
電話一二九番

産婆看護婦生徒募集

願書四月八日迄(可成至急)
修業年限(産婆看護婦を通じて一ケ年)

平町一丁目

石城産科婦學校
電話三五七番

公債

勸業債券 高價買入

電話賣買

御一報次第店員參上可仕候

平町五丁目二二二

佐々木株式店

電話二五三番

生徒募集

時代に適した婦人の職業

産婆、看護婦

卒業一ケ年

申込四月八日迄

入學無試験

平町南町

平産婆看護婦學校

校長 清野キヨ
電話三〇七番

内科 小兒科 (入院應需)
花柳病科

藤沼醫院

平町紺屋町
電話平園五〇七番

平町田町(電話五二三番)

高久病院

醫學士 高久 忠
新湯醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄

内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

耳鼻咽喉科專

氣管食道科門

病室完備：自炊の便あり

平町南町

電話一七〇番

大和田醫院

吉田眼科病院

平町紺屋町 電話八八番

外科 一般外科 内臓外科 性病科 X光線科

入院隨意(自炊の便あり)

元赤心堂病院跡

安齊外科醫院

電話四七五